

## 「えびな安全・安心フェスティバル」で自衛隊をPR



開始1時間前からカレーに並ぶ来場者の列



自衛隊車両の前で記念撮影

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、10月24日（土）、海老名市が主催する「えびな安全・安心フェスティバル」に参加し募集広報を実施した。

このフェスティバルは、市民に対し、展示や体験を通じて防災意識の高揚を図り、災害のない安全で安心して暮らせる街づくりを目指すことを目的として行われているものである。当日は、消防や警察など関係団体による車両の展示や防災ブスの出展をはじめ、厚木募集案内所は、9月に見舞われた関東・東北豪雨での災害派遣の写真パネル展示や迷彩服の試着体験による募集広報を実施し、また、第4施設群が炊事車によるカレーの炊き出しを実施した。

募集案内所のブースでは、災害派遣パネルを見た来場者から「災害の時は本当に自衛隊が頼りです。いつも感謝しています。頑張ってください。」といった激励を受けた。

また、カレーの炊き出しは、例年通り大変な人気で長蛇の列ができ、用意した500食のカレーも1時間ほどでなくなつた。毎年足を運ぶ来場者も多く、「今年も来て良かった」「いつも自衛隊さんのカレーは楽しみです」などと言った声を聞くことができた。

厚木募集案内所は、「今後も、このようなイベント等に積極的に参加し、地域に根差した募集広報活動を通して自衛隊への理解や関心を深めてもらえるよう努めていく」としている。

## マラソン大会で走りながら募集PR



ゴール前で記念撮影

(左：山田2陸曹、右：所長 酒井1海尉)

神奈川地本厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、11月1日（日）、清川村で行われた第28回清川やまびこマラソン大会に、所長及び清川村担当広報官1名が出場した。

大会には、空も宮ヶ瀬湖も青く透き通った爽やかな晴天に恵まれ、紅葉真盛りの中、県内外から約900名が参加した。迷彩Tシャツに自衛官等募集ステッカーを貼り、走りながら募集広報を行った。できるだけ大勢の人にPRする為、本大会の最長距離のハーフマラソンに出場し、沿道からはたくさんの声援や、「厚木で自衛官募集してるんだね〜」という声もあった。アップダウンの激しいコースではあったが、沿道からの声援と美しい景色のおかげで疲労を感じることなく、2名とも楽しく完走することができた。

厚木募集案内所は、「今後も地域の行事等に積極的に参加して交流を深めるとともに、さまざまな手法で募集に繋げていく」としている。

## 天童ラ・フランスマラソン参加



協力者の後藤氏

神奈川地方協力本部平塚地域事務所所長 平1尉は、11月1日（日）、山形県天童市で行われた「天童ラ・フランスマラソン2015」に、募集・広報活動の一環として参加した。

今回の参加は、平1尉が山形県出身者で、入隊が神町にある第20普通科連隊であったことから、天童市の自衛隊協力者である後藤氏の「是非、全国で頑張っている山形県出身自衛官を地元で紹介したい」との依頼で実現したものである。

山形総合陸上競技場を発着とし、松尾芭蕉が訪れた山寺近くの自然豊かな果樹園地帯を走りぬげるアップダウンがあるハーフマラソンコースで行われた同大会には全国から約3,500名が参加し、秋晴れの中、紅葉で美しく染まる山間を走り抜けた。

平1尉は「自衛隊神奈川地本」のユニフォームを身につけ、地元住民の「自衛隊頑張れ！」との声援を受けながら激走し、総合23位、年代別5位に入賞した。

平塚地域事務所は、「今後も自衛隊に対する正しい理解と自衛官を志願してくれることを期待し、地域を問わず、いろんな場面で精強い自衛隊をPRしていきたい」としている。